

第2回 地域の居場所・デイサービス全国実践交流セミナー  
in せんだい・みやぎ  
実践発表申込用紙

申込先FAX番号: 022-727-8737

1. 発表申込欄 希望する部門の記入欄に○をつけてください

部門	記入欄	部門テーマ
第1部門		少しの工夫でこれだけ変わる取り組み(発展編)
第2部門		切れ目のない暮らしの支援(トータルサポート編)
第3部門		思いや願いに向き合い、寄り添う支援(個別支援編)
第4部門		地域や住民とともに歩む(地域密着編)
第5部門		デイサービスやデイケアの運営の工夫(運営編)

2. 発表テーマ・概要 テーマは30字以内、概要は100字以内

【発表テーマ】

【概要】

3. 施設名・事業所名

法人種別	社会福祉法人 NPO法人 医療法人・医療法人社団 株式会社・有限会社 その他( )
法人名	
施設種別	デイサービス・デイケア・ホームヘルプ・ショートステイ・グループホーム 小規模多機能型居宅介護・特養・老健・医療施設・その他( )
施設名 事業所名	
事業者番号	

4. 発表代表者連絡先

氏名		TEL	( )
		FAX	( )
住所	〒		

5. 発表者氏名

	発表者氏名	所属(施設名)	職名
1			
2			

6. パワーポイントの使用

パワーポイント 使用有無	有・無	パワーポイント バージョン	2002・2003・2007
-----------------	-----	------------------	----------------

第2回 地域の居場所・デイサービス  
全国実践交流セミナー

in せんだい・みやぎ

宮城県仙台市

2011年2月26日(土)~27日(日) 2日間

■会場 東北福祉大学 国見キャンパス

■主催 「第2回 地域の居場所・デイサービス全国実践交流セミナーinせんだい・みやぎ」実行委員会

■共催 東北福祉大学/社会福祉法人 東北福祉会

医療法人社団 東北福祉会

地域の居場所・デイサービス研究会

第1部門 少しの工夫でこれだけ変わる取り組み(発展編)

第2部門 切れ目のない暮らしの支援(トータルサポート編)

第3部門 思いや願いに向き合い、寄り添う支援(個別支援編)

第4部門 地域や地域住民とともに歩む(地域密着編)

第5部門 デイサービスやデイケアの運営の工夫(運営編)

実践発表  
大募集!!

# 地域の居場所・デイサービス全国実践交流セミナー

in せんだい・みやぎ

日本の高齢者人口の割合は22%を超え、2025年には30%を超えることが予想されています。そのため、介護サービスを利用する高齢者も、年々増加の一途をたどっています。ニーズに応じた介護サービスの種類も、デイサービス、デイケア、ホームヘルプ、ショートステイ、小規模多機能型居宅介護、グループホーム、特別養護老人ホーム、老人保健施設など多岐にわたるようになりましたが、すべてのサービスの根本は「自立した日常生活を営むとができるための支援」とされています。これら多岐にわたるサービスの中でも、デイサービスやデイケアなどは、本人が望む地域での暮らし方を支援することができる最前線のサービスとなります。

これらのことは、地域包括ケア研究会が2010年3月に報告した「2025年の包括ケアシステムの姿」の基盤となるものと考えられます。

さらには、本人の願いや希望を介護保険事業では実現できない時もあることから、サロンなどの地域住民による居場所づくりやデイサービスを基本に、介護保険外の自主的なサービスを開発して支援する宅老所による小規模多機能ホームなどの取り組みも全国に広がりつつあります。

今回のセミナーでは、この通いを中心としたサービスや自主的なサービスによる暮らしの支援の実践を全国から募集し、お互いの実践発表を通して、発表者同士、また発表者と参加者がともに学び、考え合うことで、これからの通いを中心とした本人支援の取り組みが、さらによりよく発展することを目的に開催いたします。

## 実践発表テーマ

### 第1部門 少しの工夫でこれだけ変わる取り組み(発展編)

デイサービスやデイケア、あるいは小規模多機能型居宅介護など、「通い」を中心としたサービスでは、利用者一人ひとりの必要に応じたケアやリハビリテーション、レクリエーションなどが求められます。日々の関わりの中で、利用者の表情が明るくなった、できないことができるようになった、食事の量が増えたなど、ほんの少しの工夫で利用者が元気になった実践発表を募集します。

また、利用者が元気になることで、利用者のみならず、その家族や介護職員がどのように変わっていったのか、そこから感じたこと、学んだことなど、気づかされたことなどの発表も併せて募集します。

### 第2部門 切れ目のない暮らしの支援(トータルサポート編)

デイサービスやデイケアは、日中の時間帯をともに過ごすことはもちろんですが、日常生活を支えるためには、サービスを利用していない時間帯の暮らしを想像し、どう支援できるのかを考え、必要があれば切れ目をつなぐ役割も担わなくてはならないこともあります。24時間365日を支えるために、デイサービスやデイケア、ホームヘルプ、ショートステイ、小規模多機能型居宅介護などのサービスや事業所が、どのようにして生活を支えているのか、通所介護計画やケアプランをどのように組み立てているのか、そのためには家族をはじめとして、専門職間、サービス間、あるいは医療機関や併設施設などどのように連携し協働しながら支えていくのかなどの、切れ目のない支援の実践発表を募集します。

また、介護保険サービスだけで支えきれない時には、自主的なサービスを開発して支える「宅老所」などの取り組みも全国に広がっています。このような、介護保険と自主的なサービスを組み合わせた取り組みも併せて募集します。

### 第3部門 思いや願いに向き合い、寄り添う支援(個別支援編)

年をとっても、認知症になっても、誰もが生きがいや希望をもって自分らしく暮らしたいと願っています。そのためには、本人のことをよく知り、その願いをくみ取ることが必要です。買い物や散歩に出かけること、旅行に行くこと、自分の足で歩くこと、さらには畑づくりや料理づくりなどの役割をもつことで生きがいを感じるなど、利用者やその家族の願いを叶えるために取り組んだ事例や、若年性認知症の方への支援の仕方の工夫、そこからの職員の学びなどの実践発表を募集します。

また、人生の最期を家で迎えたいという願いもあります。本人や家族の意思を尊重した看取り方や、そのための多職種連携などの実践発表も募集します。

### 第4部門 地域や地域住民とともに歩む(地域密着編)

デイサービスやデイケア、小規模多機能型居宅介護などの介護保険事業所も、地域の一員として、ご近所や町内会・自治会などと、どのように関係を築いていくのが重要になります。利用者と事業所、地域の住民との連携や協働によって、利用者がこれまで住み慣れた地域や築き上げた人間関係から切り離されないようにしたり、地域の居場所や相談所となったり、地域の資源として地域の住民と地域の福祉をともに創り上げる実践発表を募集します。

また、利用者がお年寄りのみならず、そこに障がい者や子どもも一緒に過ごす地域共生ケアや、制度の有無にかかわらず地域の居場所づくりや地域交流サロンのような多様な実践発表も募集します。

### 第5部門 デイサービスやデイケアの運営の工夫(運営編)

デイサービスやデイケアなどの「通い」を中心としたサービスでは、限られた時間と空間の中で、利用者それぞれの気持ちに配慮し、より快適に過ごしていただくための運営の工夫が必要となります。また、利用者や介護家族者の小さな変化を見逃さない気づきの仕組みづくりも大切な要素の一つです。この部門では、規模や形態にこだわらず、「在宅での生活」を支える職員のチームづくりや独創性のある運営形態などの多様な実践発表を募集します。

主催／「第2回 地域の居場所・デイサービス全国実践交流セミナーinせんだい・みやぎ」実行委員会

共催／東北福祉大学／社会福祉法人 東北福祉会／医療法人社団 東北福祉会／地域の居場所・デイサービス研究会

開催日／2011年2月26日(土)～27日(日)

会場／東北福祉大学 国見キャンパス

定員／600人

実践発表者参加費／お一人10,000円(発表者割引)

※1発表につき、2人まで適用となります。※一般参加者の参加費は、13,000円となります。

## 応募の手順

- 1 実践発表希望者・施設は本紙の「実践発表申込用紙」に必要事項をご記入のうえ、**2010年9月30日(木)まで**に、実行委員会事務局にお申し込みください。
- 2 実践発表の希望者・施設が多数で、発表時間ならびに会場の関係でお断りをする場合には、**先着順**で決定させていただきます。2010年10月上旬に決定通知を送付いたします。
- 3 実践発表者・施設は、当日資料にレジュメを掲載いたしますので、決定通知に同封している様式にしたがって、**2010年12月27日(月)まで**に、ご提出ください。
- 4 発表者もセミナーへの参加が必要になります。別途お送りする参加者募集要綱にて、セミナーへの参加申し込みをしてください。

## 実践発表にあたっての留意事項

### ● お申し込み

①全5部門のなかから、実践発表テーマを選択し、所定の申込用紙にご記入のうえ、事務局までお申し込みください。

**発表申込締切日:2010年9月30日(木)**

※申込用紙は、1発表につき、1枚ご使用ください。

②お申し込みいただいた「発表テーマ」「概要」を検討のうえ、事務局において発表部門を変更させていただく場合もありますので、ご承知おさください。

### ● 発表準備

①事務局からお送りする指定用紙に事業所概要や発表内容の記入、施設図面、勤務表の提出

**資料提出期限:2010年12月27日(月)**

②発表時にパワーポイントを使用する場合にはデータを提出(パワーポイントの使用は任意です)。

**データ提出期限:2011年1月21日(金)**

※パワーポイントの使用を希望される場合には、申込用紙に必要事項をご記入ください。

### ● 発表時間

**2011年2月26日(土)**

午後のうち、後日指定する25分間(発表時間20分+質疑応答5分間)

## お問い合わせ・お申し込み

### ● 発表のお申し込み先・セミナーに関するお問い合わせ先

実践発表のお申し込みは、裏面の申込書に必要事項をご記入いただき、郵送またはFAXにてお申し込みください。なお、大会参加のお申し込みは、後日お送りいたします開催要綱をご覧ください。

「第2回 地域の居場所・デイサービス全国実践交流セミナーinせんだい・みやぎ」実行委員会

事務局／全国コミュニティライフサポートセンター(CLC) 担当:田所  
〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16番30号 シンエイ木町ビル1階

**TEL:022-727-8730 FAX:022-727-8737**

E-Mail:clc@clc-japan.com